

対象学生	科目名	担当者	担当形態	必修・選択	単位数	開講時期		
こども学科 3年次	<b>ピアノV (弾き歌いを含む)</b>	隈部文・大石陽子・光永育	クラス分け	保育士・幼稚園教諭免許取得のための必修	1単位	前期		
科目		領域および保育内容の指導に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		領域に関する専門的事項						
授業のテーマ 及び到達目標	授 業 計 画							
	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
<p>幼児の感性を伸ばす音楽を探求する。保育現場に合う童謡の伴奏と弾き歌いの力をつける。右手旋律・左手コードまたはベース奏、両手コード伴奏、その場に合う編曲ができるようになる。8、9月の保育実習、幼稚園教育実習へ向けての実習判定曲を全て暗譜で自由に弾けるようになる。</p>	1	オリエンテーション ハ長調のコードの復習 園生活の歌	シラバスを読む 明るく元気な音で、付点リズムに気をつけ予習	レッスンカードの活用法、第1回実習判定までの計画を立てる	9	ニ長調のコード・転回形 夏の歌	課題曲に動きをつけると仮定して弾み方の研究をする	移調奏、先読み、弾き歌いの練習
	2	旋律と伴奏コードのバランス 園生活の歌	園児に旋律を指導する想定バランスを意識して練習	「旋律(右手)の冴えた音、左は5指が支え」が身につくよう意識	10	付点リズムと三連符 快活な童謡	5番までの歌詞をしっかりと覚える ハ長調のコードも復習する	ト長調、ハ長調両方自由に使えるようにする
	3	弾き歌いの基本 園生活の歌	歌詞を暗譜して行く	明るく元気な音色のために必要な指の基礎訓練を考える	11	付点四分音符と付点八部音符 園生活の歌	コードとアルペルティバス両方の復習をしておく	音楽的表現で正しい付点リズムを自由に使える練習をする、
	4	実習判定① 園生活の歌	暗譜を完全にし、元気に弾く、弾き歌いする練習をする	左手伴奏と歌、旋律を弾きながら歌い、バランスを考える	12	実習判定③ 軽快な付点リズムの歌	「さんハイ」の直後からしっかり歌い始められる練習をする	振り向きに完全に慣れる工夫と練習を積む
<p>授業の概要</p> <p>実習時を想定し、暗譜・笑顔・振り向きながら、目の前の幼児に語りかけるピアノ伴奏および弾き歌いのための個人レッスンをし、実習判定に臨む。</p> <p>実習時期に合わせて、課題曲は夏、初秋、生活、行事の歌を取り上げる。実習判定は課題曲毎に、合格するまでやり直し判定を実施する。</p>	5	前奏の効果 ニ長調の童謡	さんハイに合わせやすい前奏の終わり方を研究して行く	緊張に耐え完全暗譜で演奏できる迄の練習量と質を探求する	13	初秋の風情を歌う 現場で必須の歌	3番までの歌詞を完全に暗譜する	聞いてお絵かきができるような風景を思い浮かべられる表現
6	情緒豊かな歌詞を活かす 日本の童謡	歌詞を読み込み、フレーズを大切にしながら練習して行く	ピアノ演奏でも弾き歌いでも抒情性が伝わるよう研究する	14	元気な発声をめざす 行事	同じ行事の別の曲を調べる 明るく歌えるよう予習する	伴奏は自由に使えるようにし、少し難度の高い版も練習する	
7	ペダルの効果的使用法 登場回数が多い園生活の歌	誰でも口ずさめる曲を音楽的に正しく理解するよう予習する	伴奏を完成させ余裕がある場合は様々なtempoや表現で練習する	15	レパートリーの仕上げ まとめ	実習判定基準に沿って課題曲の表現方法を整理し、暗譜する	こどもの動きや感情に寄り添った表現を探求する	
8	実習判定② 年間通してよく歌われる歌	教科書を基に曲に合う伴奏型、自分に合った伴奏型を考えて練習する	曲調に合う強弱の変化を用い、曲に合う表現を身につける					
教科書・テキスト等	「ポケットいっぱい」教育芸術社 「こどものうた200」チャイルド社 「続・こどものうた200」チャイルド社、配布資料		成績 評価 基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント		
	参考書・参考資料等	「日本の童謡200選」音楽之友社 「音楽リズム・幼児の歌」東京書籍、配布資料		定期試験	80	童謡曲のピアノ、弾き歌い実技試験		
				平常点(態度・行動観察)	20	毎回の練習状況、レッスンへの取り組み姿勢		

対象学生	科目名	担当者	担当形態	必修・選択	単位数	開講時期		
こども学科 3年次	<b>ピアノVI (弾き歌いを含む)</b>	隈部文・大石陽子・光永育	クラス分け	保育士・幼稚園教諭免許取得のための必修	1単位	後期		
科目		領域および保育内容の指導に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		領域に関する専門的事項						
授業のテーマ 及び到達目標	授 業 計 画							
	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
<p>ピアノVまでに培った力を活かし、保育現場で提供することに相応しい、更に深い音楽を求めていく。幼児音楽の音楽性、保育の現場に相応しい伴奏の編曲、コード伴奏を確かなものにし、課題は全て暗譜する。歌詞の読み取り、意味を考えた譜読み、自分に合った編曲など、自分で切り拓いていく力をつけることを目標とする。</p>	1	オリエンテーション 実習の振り返り	実習中の童謡を弾き歌いし、実習時の音楽活動について纏める	レッスンカードに振り返りと今後の目標を書き込む	9	ハ長調のベース伴奏と分散和音 冬の歌・行事	ハ長調のコードを復習しておく 楽譜にない前奏を考えて付ける	強弱記号の記入がない曲の緊張と解決を楽譜から読み取る
	2	拍感と強弱 秋の歌	動作を伴うかけ声の曲は元気よく、抒情的な曲との違いを練習	オペレッタの演出を想定し応用法を考える	10	スタッカートと擬音語 季節の歌・冬	歌詞読みをし、曲に合うスタッカートの奏法を研究する	ニ長調をハ長調にも書けるようにする
	3	ハ長調の復習 活気ある曲と情緒溢れる童謡	ベース伴奏を拍に乗せる練習	親子愛に満ちた音色とタッチを研究し身につける	11	ハ短調の復習 行事の歌	解離型コードに慣れる ハ短調の音階とカデンツの練習	オリジナルの前奏を身につけて使えるようにする
	4	変ロ長調のコード 運指を考える	ベース伴奏で右手の旋律を歌が聞こえるように奏する	両手伴奏で弾き歌いの練習をする	12	実習判定② 冬から春への歌	曲調に沿った表現で完全に暗譜する	一緒に歌いたくなる演奏とは何かを探求する
<p>授業の概要</p> <p>現場で役立つ、幼児に合う編曲、移調、コード伴奏、両手伴奏等様々な形に慣れて使えるようになるための徹底した個人レッスンを積んでいく。</p> <p>冬、早春の課題曲で実習判定を行う。</p>	5	実習判定① 季節の歌と日本の童謡	フレーズと音価を含めてきちんと暗譜する	判定に指定されなかった課題曲を復習して確かなものにする	13	変ホ長調のコード 早春の歌	変ホ長調の調号の確認、左手で主要三和音の練習をしておく	黒鍵を親指・5指で弾くことに慣れる
6	ピアノ曲に取り組む クラシックの小品	取り上げる曲の調のスケールとアルペジオの練習をする	課題曲から訓練すべき音型を探し、効率よい練習法を考える	14	ハ長調とハ長調の復習 表現が難しい曲	音楽の呼応に情感を込める	簡易伴奏の場合のベース音の選び方と奏法に工夫を凝らす	
7	ピアノ曲のレッスン 練習の密度と受講の仕方を学ぶ	作曲家、曲の背景、作品番号、原典版について調べる	楽語の意味や、表記のしかた、深読みして表現法を探る	15	ピアノVIの振り返り まとめ	2/4、3/4、6/8拍子の復習をする	童謡の日本語の美しさを感じ、伝えるための技量を備える	
8	ピアノ曲の仕上げ 成果発表	楽譜に自分なりの注意事項を書き込み、視奏か暗譜か決める	人の演奏に対して感想・意見を言えるよう注意深く聴く					
教科書・テキスト	「ポケットいっぱい」教育芸術社 「こどものうた200」チャイルド社 「続・こどものうた200」チャイルド社、配布資料		成績 評価 基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント		
	参考書・参考資料等	「日本の童謡200選」音楽之友社 「音楽リズム・幼児の歌」東京書籍、配布資料		定期試験	80	童謡曲のピアノ、弾き歌い実技試験		
				平常点(態度・行動観察)	20	毎回の練習状況、レッスンへの取り組み姿勢		

対象学生	科目名	担当者	担当形態	必修・選択	単位数	開講時期		
こども学科 4年次	<b>ピアノⅦ（弾き歌いを含む）</b>	隈部文・大石陽子・吉良千波	クラス分け	保育士・幼稚園教諭免許取得のための必修	1単位	前期		
科目		領域および保育内容の指導に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		領域に関する専門的事項						
授業のテーマ 及び到達目標	授 業 計 画							
	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
幼児のことばの発達を促し、豊かな心や優しさを育む一翼を担う童謡を、音楽的に深く理解し、幼児の心に寄り添う伴奏で指導できるようにする。保育現場に合う童謡の伴奏と弾き歌いの力をつけて実習に臨む。 童謡・こどもの歌の移調やアレンジ、両手伴奏など与えられた課題ができるようになる。	1	オリエンテーション 基本の復習	ハ・ヘ・ト・ニ長調のコード（カデンツ）を練習してくる	それぞれ同主調でも弾いてみる 第1回実習判定迄の計画を立てる	9	分散和音を拍子にのせる 重くならない左手	1拍め＝強拍だが、叩いた音にならないように、掘んで弾く	4小節を一区切りとして楽譜を読み取る習慣を身につける
	2	旋律と伴奏のバランス 園生活の歌	コード・ベース等、左手音符の数・厚みによりバランス変える	実習判定課題10曲を自己の効率よい練習順序に整理する	10	躍動感、印象に残る特徴的な歌 秋の自然の歌	歌唱指導と伴奏・弾き歌いで版を変える努力をする	歌として表現するための基礎練習の何が活かせるか考察する
	3	音色と指先 細かい練習によって鍛えられる 感覚	歌詞やフレーズを考えて暗譜し、音色・音量に反映させる	明るい音色のために必要な指先のコントロールの訓練をする	11	情景を伝える 風情ある秋の歌	音価の大切に、呼吸を伴って歌を正しく覚える	旋律のみ弾いて歌う、左手伴奏のみ弾いて歌って音楽観を得る
	4	弾き歌いを上達させる 部分練習とソルフェージュ	歌を入れても影響がない安定感を求めて練習する	右手（旋律）を弾きながら歌い、バランスを整える	12	実習判定② 夏から秋の歌	振り向きに完全に慣れる工夫と練習を積んで判定に臨む	右手をsy腰抑えて歌とのバランスをとることを習慣づける
授業の概要	5	実習判定① 夏の歌・園生活の歌	入り易い「さんハイ」、顔を上げ一緒に歌う先生像をめざす	両手伴奏の弾き歌いに慣れるためにソルフェージュ力をつける	13	移調奏とアレンジ ハ・ニ・ヘ・ト長調	ハ長調とニ長調のコードを演奏と記譜で復習しておく	主要三和音のカデンツを自由に弾けるようにする
実習時を想定した暗譜・笑顔・振り向きを完全に身につける。目の前の幼児に語りかけるピアノ伴奏および弾き歌いのための個人レッスンを行う。実習時期に合わせ、課題曲は初夏、秋、生活、行事の歌を取り上げる。実習判定では課題曲毎に採点する。全曲合格しなければ実習に行けない。	6	リズムカルな童謡・唱歌 刻みと付点リズム	明るい音色が出るタッチ、軽快な付点リズムを身につける	指先で鍵盤を捉える感覚を覚えスタカート奏法を研究する	14	移調奏とアレンジ 長調と短調	長調と短調の響きの変化を聴き取り、表現に繋げる	響きの明暗、強弱、嬉悲など、変化に注目する習慣をつける
	7	拍感をしっかり意識する よく歌われる歌	頭の中で指揮しながら拍子を感じ、一貫性をもって練習する	正しい拍子・リズム・音程で歌うための訓練を習慣づける	15	実習に向けて まとめ	実習に向けて課題曲の完成度を上げ、明るく歌えるようにする	実技試験に向けて弾きこみ、歌い込みを万全にする
	8	へ長調と変ホ長調 夏の歌	あまり馴染みのない変ホ長調について調べる（音楽理論的復習）	簡易版（へ長調）でも前奏は原曲の形を用いる等工夫する				
	教科書・テキスト等	「ポケットいっぱいのおうた」教育芸術社 「こどものうた200」チャイルド社 「続・こどものうた200」チャイルド社、配布資料		成績 評価 基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント	
参考書・参考資料等	「日本の童謡200選」音楽之友社 「音楽リズム・幼児の歌」東京書籍、配布資料			定期試験	80	童謡曲のピアノ、弾き歌い実技試験		
				平常点（態度・行動観察）	20	毎回の練習状況、レッスンへの取り組み姿勢		

対象学生	科目名	担当者	担当形態	必修・選択	単位数	開講時期		
こども学科 4年次	<b>ピアノⅧ（弾き歌いを含む）</b>	隈部文・大石陽子・吉良千波	クラス分け	保育士・幼稚園教諭免許取得のための必修	1単位	後期		
科目		領域および保育内容の指導に関する科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等		領域に関する専門的事項						
授業のテーマ 及び到達目標	授 業 計 画							
	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修
保育現場で幼児に向き合い、寄り添う音楽の在り方を音楽大学で学ぶ意義と併せて、より深く探求する。移調奏やアレンジ、コード伴奏、両手伴奏による弾き歌いなどあらゆる形で対応できる。確実に暗譜し、幼児と一緒に、幼児の様子を見ながら弾き歌いする。	1	オリエンテーション 実習の成果発表	実習中の童謡を復習し、実習時の音楽活動について発表する	レッスンカードの使用法を再確認し今後の目標を書き込む	9	移調奏とアレンジ 冬の歌・行事	ハ長調・ニ長調、へ長調・ト長調のコードを復習しておく	長2度上下行に慣れたら短2度上下行に挑戦する
	2	コード伴奏とベース伴奏 秋の歌	楽譜にコードネームを書き入れて音楽理論の復習をする	手遊び歌として笑顔で指導する者、伴奏する者に分かれてみる	10	スタカートとマルカート 季節の歌・冬	連打するコードの弾き方を復習する	近隣調に移調し、楽譜を書く復習をする
	3	正しい音程の復習 ソルフェージュの基礎	4度上行、5度上下行、1オクターブ上行等の音程を正しくとる	両手伴奏の時の歌に自信がもてるまで訓練する	11	ニ長調の復習 早春の行事	左手だけ演奏しながらバランスの良い声量で歌う	擬音語の歌い方、弾き方を研究し、楽しさを伝える
	4	歌詞とフレーズ 表現を考えたソルフェージュ	音価と休符に気を配りフレーズの終わりの納め方を考えて歌う	和声の機能による緊張と解決を理解し、歌に反映させる	12	成果発表③ 短い設定保育	園児への語りかけ、声のトーンも研究する	園児の顔を見ながら楽しく歌うところまで練習する
授業の概要	5	確実な暗譜 意識的暗譜と身体暗譜	部分練習と片手練習をくり返すことの効果を実感する	自己の力量と必要な練習量を探り、頭と身体両面から暗譜する	13	アルベルティバスを滑らかに弾く 春の歌	左手の部分練習を行い、リズム変奏で指の訓練をする	画一的な伴奏をアレンジする 既成の編曲を参考にしてもよい
ピアノⅦまでに習得した楽譜の読み取り方、歌詞読みにより、フレーズの捉え方、表現の向上のための個人レッスンを行う。就職試験対策としてピアノ曲や弾き歌いのレッスン、卒業後、すぐ必要になるであろう定番の童謡の指導も行う。	6	成果発表① 弾き歌い、移調奏、ピアノ曲他	個人のベースと就職試験に合わせ、自由曲を用意する	演奏マナー、聴くときの態度ができていたか振り返る	14	自由曲 卒業後に役立つ課題	就職先の園歌や未知の曲の楽譜を譜読みし予習する	教員の助言を参考に練習のしかたを考える
	7	ピアノ曲 クラシック、アニメソングのピアノソロ他	作曲家、曲の背景、について調べ、出版社・版も比較する	楽譜から曲の内容を読み取っていたか振り返る	15	4年間の振り返り 試験課題の取り組みとまとめ	後期実技試験課題曲の予習と暗譜に取り組む	後期実技試験曲を仕上げ、卒業後の課題の練習計画を立てる
	8	成果発表② ピアノ曲の仕上げ	曲について調べたことをメモし、使いやすい楽譜を作る	音楽用語、記号をまとめ、大譜表の書き方を復習する				
	教科書・テキスト等	「ポケットいっぱいのおうた」教育芸術社 「こどものうた200」チャイルド社 「続・こどものうた200」チャイルド社、配布資料		成績 評価 基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント	
参考書・参考資料等	「日本の童謡200選」音楽之友社 「音楽リズム・幼児の歌」東京書籍、配布資料			定期試験	80	童謡曲のピアノ、弾き歌い実技試験		
				平常点（態度・行動観察）	20	毎回の練習状況、レッスンへの取り組み姿勢		

対象学生	授 業 科 目 名		担 当 者		必修・選択	授業形態	単位数	開講時期	
こども学科 3年次	ハーモニーⅡ		限 部 文		選択	演習	2単位	前期	
授業の概要		授 業 計 画							
ハーモニーⅠで学習したコードネームやキーボード・ハーモニーを発展させ、保育や幼児教育の現場で実践できる力をつける。童謡曲・こどもの曲のコードによる伴奏付けや移調、アレンジも行う。また、幼児の音楽表現活動ができるように簡単な即興演奏法も学ぶ。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修	
	1	授業についての説明 機能音声やコードの確認テスト	ハーモニーⅠの復習	確認テストの振り返り	9	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調 (二長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	
	2	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調 (ハ長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	10	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ (二長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	
	3	童謡・子どもの曲のコード分析とアレンジ (ハ長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	11	童謡・子どもの曲のコード伴奏、移調 (ハ長調、ヘ長調、ト長調、ニ長調以外の調)	自分で曲を選び旋律を弾く	課題曲を移調する	
	4	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調 (ヘ長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	12	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ (ハ長調、ヘ長調、ト長調、ニ長調以外の調)	自分で選んだ曲を弾いて、コードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	
	到達目標								
	5	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ (ヘ長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	13	アンサンブル	課題曲を聴く	自分のパートを練習する	
	6	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調 (ト長調)	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	14	アンサンブル (いろいろな音色に変えて演奏)	音色を考える	自分以外のパートも練習してみる	
7	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ (ト長調)	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	15	まとめ	発表の準備	発表と授業で行ったすべての内容の振り返りをする		
8	確認テスト (課題曲のコード伴奏、移調、アレンジ)	これまでの復習	確認テストの振り返り						
教科書・テキスト等	成績評価基準	評価方法		割合(%)	評価のポイント		履修に関する留意事項		
「新版 和音伴奏による 幼児のうた100曲」全音楽譜出版社、 配布プリント		平常点 (態度・行動観察)		20	受講態度				
		課題 / レポート		20	課題への取り組み				
		期末テスト		60	実技試験				